

1月自治協議会「教育ミーティング」アンケート結果報告

「新潟市の中学生のための地域クラブ活動推進の進捗と次年度の取組について」

アンケートの質問に対する回答（回答希望があったもの）

	質問	回答（*地域クラブ活動推進室作成）
1	<p>本会議の中でも質問が出ていましたが、自らすすんで部活動に参加しない引きこもり傾向のある子どもたちや交通手段のない昼間送迎ができない子どもたちの対応を示していただきたい。</p>	<p>不登校傾向の生徒については、部活動だけの問題ではなく、学校教育全体の課題でもあります。移動手段については、地域の実情に応じた必要な支援を他都市の状況も踏まえしっかりと検討していきます。</p>
2	<p>R8年以降のあり方で、独自の新たな活動をする中学校が、3校あるが、どんな内容なのでしょうでしょうか？</p>	<p>新津一中、新津五中については、具体的な活動は未定です。小合中は、コミ協と協力して、コミュニティーセンターを活用し、平日の放課後の居場所づくりを準備しています。</p>
3	<p>①ご担当者の話の中で「縮小」という言葉があり、正直驚きました。行政の本音が見えた気がします。「教師の働き方改革だけではなく、地域の教育力向上、活性化のための施策」という説明と、どう整合するのかご説明いただけますでしょうか。</p> <p>②就学援助に関して、市の教育費が年々減少する中で、家庭への支給率は比較的高いことは知られています。低所得者層が増えていく中で、県内の他自治体においてなされている、地域クラブ活動にかかる経費について、新潟市は当面、補助を行わないと理解してよるのでしょうか？</p> <p>③小合中、金津中の受入れ団体の確保がかなり困難であるようです。特に文科系活動は特に顕著です。アキハスムプロジェクトで森の幼稚園のような区外からの教育移住者が実績としてある地域だけにとっても残念です。市内でこうした地域間格差の問題に取り組まれている事例がありましたら教えてください。</p>	<p>①「縮小」という表現は、部活動の価値や教育的意義を下げるという意味ではありません。新潟市では15年後には中学生の人数は現在より30%減少し、従来と同じ形で部活動を継続すること自体が難しくなると想定しています。そうした将来を見据え、学校のみで一律に行ってきた運営を見直し、新たな活動の形を創造していくことが、部活動の地域展開の目的の1つです。地域クラブとなることで、生徒は興味やレベルに応じて、回数や種目を選べるようになります。また、地域の伝統文化活動やボランティア、世代間交流に参加する時間も生まれ、地域の教育力の向上や活性化につながると考えています。</p> <p>②地域クラブ活動にかかる経費について、現時点で家庭への直接的な補助を行う予定はありません。一方で、地域クラブの運営に対しては、会費が保護者の過度な負担とならないよう、指導者謝金を対象とした、会費の低廉化につながる補助制度等を実施しています。今後の支援については国の制度設計や財政支援の動向を注視し、他の自治体の状況も踏まえながら検討していく考えです。</p> <p>③小合中学校や金津中学校のように、特に文科系活動の受け入れが難しい地域があることは、本市としても課題と認識しています。市としても各学校を訪問し、相談や助言を行うとともに校長先生が率先して地域に働きかけている状況があります。具体的には小合地域ではコミュニティ協議会与学校が連携し、放課後の子どもの居場所づくり活動を検討しています。金津地域からも推進室に相談が寄せられています。他区でも、地域組織で放課後クラブの設立、学校による総合運動部・文化部の創設、生徒会によるレク活動の創設などの新たな動きが見られます。市としては引き続き地域間格差の解消に努めていきます。</p>

アンケートの感想

1	なぜ、こんなことになっているのか、あいまいであったが、本日の説明で”急激な子どもの数の減少”と納得できた。他にも理由はあると思うが、仕方ないことなので、子どものために、納得し、協力して応援していこうと思った。
2	本日の説明で、進捗と取組がよくわかりました。市HPの地域クラブ団体リストが330あると聞いて選択肢が広がっていることに安心しました。これからも子どもの体験の機会を大事に、自分としてもなにかできることがあれば協力していきたいです。
3	ありがとうございました。今の状況がよくわかりました。学校によっても格差があり、大きな学校では、今後も部活動として、できることは良いと思いますが、小さな学校は、やはり不利だと感じました。それと、文化部がほぼなくなるのはさみしいです。地域クラブへの行き帰りにも格差が感じられます。これからの子どもたちが、体力的にも落ちないようにお願いします。
4	中学校区ごとに継続して課題を検討していく必要あり。各校区の結果を継続して報告してください。
5	ぜひまたこのような意見交換の場を設けてほしいです。ありがとうございました。

*再掲 * 5月自治協議会での質問回答から

<p>中学校の地域クラブ活動移行の進捗状況について、秋葉区ではどの様になっているのか？</p>	<p>(*秋葉区教育支援センター・秋葉区役所地域総務課文化スポーツグループが作成)</p> <p style="text-align: right;">●箇所は追記</p> <p>令和5年度から、区内のスポーツ競技団体・文化団体や学校関係者、地域の方々にお集まりいただき、勉強会や情報交換会を開催し、区内中学校の部活動の現状や既に活動している地域クラブについて紹介や情報共有を行ってきました。現在、スポーツ競技団体や学校教職員OBが主体となった地域クラブが設立されています。今後も地域クラブ設立へ向けた相談窓口として、各競技団体等を支援していきます。</p> <p><これまでの取組から *一部抜粋></p> <p>○令和5年11月 「部活動の地域移行」に関する勉強会 参加者74名 (スポーツ競技団体、文化団体、学校関係者)</p> <p>○令和6年6月 区内中学校情報交換会 各中学校長と部活動の現状と課題についての情報共有 →区内の各中学校の部活動の現状一覧表の作成</p> <p>○令和6年7月 情報交換会 (実践紹介・学校と団体とのマッチング等) 参加者68名 (スポーツ競技団体、文化団体、学校関係者)</p> <p>○令和6年11月 地域クラブ活動体験会・説明会 (教育委員会主催) 秋葉区総合体育館にて区内の競技団体等を紹介するブースを設けて簡単な体験活動や情報提供を行った。来場者約250名</p> <p>●令和7年度は10月に実施 出展クラブ数16 来場者約300名</p> <p>*自治協議会での説明、進捗・情報提供等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 - 2月 ・令和6年度 - 6月、7月、10月、3月 ●令和7年度 - 5月、1月
---	---